


生物名	フジタイゲキ <i>Euphorbia watanabei</i> Makino subsp. <i>watanabei</i>	
分類	種子植物 双子葉類 トウダイグサ科	
指定条件	(1),(2),(3),(4)	
特徴	多年草。高さ1mに達する。茎は太く、全株無毛。花期5～7月。花期に苞葉が黄色になる。子房と果実に乳状突起が多い。	
生育地	日当たりのよい山地の草地に生育する。	
分布	静岡県の固有亜種。富士山麓で最初に発見された。県内では北部を除く各地に分布していたが、草地の消滅で減少し、現在は3ヶ所に小規模な産地があるのみである。平成17年度掛川市自然環境調査では、市内1地点で生育を確認した。	
保護	保護には、毎年の草刈りが必要である。	
カテゴリー	静岡県カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類(EN) 環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類(VU)	

## ※指定条件

- (1) 個体数が著しく少ない。
- (2) 個体数が著しく減少しつつある。
- (3) 主要な生息・生育地が消滅しつつある。
- (4) 生息・生育環境が著しく悪化しつつある。
- (5) 過度な捕獲・採取圧がある。